

# 愛知目標達成のための 私達の提案

2011.12. 10、11 環境保全戦略講座(生物多様性分野)

作成:生物多様性の愛知目標の達成のために 私達ができる 100の提案づくりワークショップ参加者

主催:環境再生保全機構 地球環境基金部、企画協力:あおぞら財団

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
1	樹・生物のことを知ろ う・学ぼう	どんな植物、生き物 が外来種なのか興味 をもつこと。  樹のこと生物のこ とを知ること。学ぶ場 をつくること。自ら増や すこと。	まずは、自ら植物、虫や魚 などの生き物に興味をも つて、学び、調べ、育てる。	地方自治体が取 り組みやすくする ためのマニュアル を作りましょう。	身近な自然のことがわ かる看板などを設置し ましょう。 一般市民が興味を拡 げる工夫をしましょう。 公園の樹に名札をつけ ましょう。 スマートフォンなどのカ メラで撮影した写真を 募集し、サイトなどで紹 介しましょう。 いい事例を紹介し、賞 を与えましょう。 音頭取りになりまし ょう。	・銀行の待合室な どで展示しまし ょう(その写真を観 に来たら預金してく れるかも)。	教育機関、大学な どと協力し、専門 知識をサポートし てもらいましょう。	A	1
2	学校で野菜を育てよう	野菜の育成法を学 校教育で取り入れる こと。	—	国内全校で実施 するのが理想で すが、モデル校を 作り支援しまし ょう。	学校近くの農家の方 に、アドバイザーの協 力をお願いしまし ょう。	学校で使う消耗品 や道具を提供しま しょう。	協力企業を紹介し たり協力農家を紹 介して、ピーアール に協力しましょう。	A	1
3	自分だけの「生物多 様性保全のための 〇〇の日」を作ろう	生物を殺さない日をつ くること。 お金を使わない日をつ くること。 CO2出さない日をつ くること。 薬を飲まず、自然治 癒させること。	生物多様性について考える ために、「〇〇な日」をつ つてみる。 (例:生物を殺さない日、お 金を使わない日、CO2を出 さない日、早寝早起きの日、 自然治癒の日など)	NPOやNGOが提 案した生物に関 するトピックスや 話題を広く周知 ピーアールするこ とに協力しまし ょう。	市町村発行の機関誌 などに生物の話題提供 を掲載するなど、国の ピーアール活動に協力 しましょう。	社員が休暇を取り やすくなるように、 休暇ノルマを作りま しょう。	生物に関連ある 365日のトピックス や話題提供をしま しょう。	A	1
4	愛知目標の話しをしま う	愛知目標を話題に し、生物多様性保全 に関して学ぶこと。	—	国の末端の出先 機関にいたるま で、愛知目標を紙 に印刷して各部 屋の壁に貼りま しょう。	月に1回は愛知目標に ついて説明する講演会 やイベントを行いま しょう。	朝礼の時に愛知目 標を唱和しまし ょう。	・プロボノ(Pro bono/マーケティングの ノウハウを活用してPRを しましょう。	A	1
5	生物多様性ホットス ポットの話しをしよう	生物多様性ホットス ポットの存在を知 ること、関心を持つこ と。 NPOや市民団体の 情報を得ること、会	—	国内の生物多様 性ホットスポット の位置を地方自 治体へ伝えま しょう。	自治体あるいは地域内 のホットスポットを調べ て地図化しよう。	生物多様性ホットス ポットの地図を会社 の壁に貼ろう。	生物多様性ホット スポットを企業や 地方自治体に紹介 しよう。	A	1
6	生き物の映画を観よう	ドキュメンタリー映画 を観ること。上映会を 開くこと。	—	外国から生物多 様性の保全に役 立つ映画や映像 を入手し、地方自 治体へ提供しま しょう。	生物多様性の保全に 役立つ映画を上映しま しょう。	生物多様性の保全 に役立つ映画を作 るためのスポン サーになりま しょう。	生物多様性の保全 に役立つ映画の ピーアールに協力 しましょう。	A	1
7	1日1回生物多様性 の話しをしよう	1日1回、生物多様 性のことを話題にす ること。	—	各地方自治体に NPOやNGOが 作ったホームペ ージを紹介しま しょう。	市町村の広報誌などに 生物多様性に関する記 事を掲載しましょう。	NPOやNGOが作っ たホームページの 紹介や話題を朝礼 などで紹介しま しょう。	ホームページなど で、365日分の生 物多様性に関する 話題を提供しま しょう。	A	1
8	ホームページに生物 多様性の話題を掲載 しよう	HP、ブログの立ち上 げ。情報発信。	生物多様性に関するホーム ページやブログを立ち上げ、 情報発信をしていく。生物に 直接関わりのない会社で も、生物に関する話題提供 の記事を作っておく。	各地方自治体の生 物に関するホーム ページのリンク 集を作りましょう。	市町村のホームページ のトップに生物に関す る話題を掲載しま しょう。	自社のホームペ ージに生物に関する 話題を掲載しま しょう。	各企業の生物に関 するホームページ 作成の手助けを しましょう。	A	1
9	生物多様性の読書会 を開こう	読書会を開く。大切 と思った本を人と共 に読み、語り合い語 りつぐこと。自己表 現。	—	各地方の自費出 版で作成された 本などで、生物多 様性の保全に役 立つ図書を紹介 しましょう。	図書館に生物多様性 の保全に役立つ本をそ ろえましょう。	生物多様性の保全 に役立つ図書作 りのスポンサーに なりましょう。	生物多様性の保全 に役立つ図書をつ くりましょう。	A	1
10	生物多様性コンサ ートを開こう	(若者)しゃべり場を 運営する。アート広 場の開催。 ex.「太陽の宴」 コンサート、オブジェ	「生物多様性」という言葉 を聞いただけで、「難しそう」と 考えてしまう人が多いのも 事実です。講演会やセミ ナーだけでなく、誰もが楽し め、生物多様性との言葉 を知る切欠にするためにも、 楽しそうなイベントやコン サートを開催する。若者が 参加する「しゃべり場・アート 広場」などを運営していく(例 えば「太陽の宴」コンサート、 オブジェ)。	コンサート開催の マニュアルを作成 し、地方自治体な どへ提供しま しょう。	会場使用料を減免する など、会場を提供しま しょう。	コンサートのスポン サーになりま しょう。	コンサートを企画 主催しましょう。	A	1

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
11	五感を鋭くしよう	五感に対する教育。	常に五感を鋭くして、身近な環境の変化に気づけるようにする。	生き物見つけ調査や緑の国勢調査に、臭いや音など五感調査も取り入れましょう。	五感を使った観察会を行うNPOやNGOを紹介しましょう。	自社の敷地内の生物調査を定期的に行い、五感を使って調べましょう。	五感を使った観察会を主催しましょう。	A	1
12	1日1回落ち葉を触ろう	樹とふれあい、落ち葉で遊ぶ事が大事だと知ること。	自然と触れ合うことで、自然の大切さを頭ではなく体感することが大事です。特に落ち葉の下や周りにはいろんな生き物が隠れているので、身近な自然との触れ合いにもなります。	国立公園や国営公園、一級河川の護岸など、落ち葉に触れる場所を増やしましょう。	街路樹や公園など、落ち葉に触れる場所を作りましょう。	敷地内に落ち葉に触れる場所を作り、市民へ場所の提供をしましょう。	落ち葉に触れる観察会を開催しましょう。	A	1
13	虫を見たら「かわいい」と唱えましょう	虫を見て「かわゆい」と3回以上唱えること。	虫に関心がなくても、「かわゆい」と言い続けたら、だんだん愛情がわいてくる。そうやって自然に関心をもたせる方法もある。特に大人が過剰に嫌がったり怖がったりすると子供にも伝わります。あえて可愛いという。	国立公園や国営公園、一級河川の護岸など虫、が生息できる場所を増やしましょう。	街路樹や公園など虫が生息しやすい場所を作りましょう。	人気のなさそうな虫をモデルにグッズ開発をしましょう。会社の社章やバッジに虫のリアルなイラストを使いましょう。	特に人気のない虫を対象にした観察会を開催しましょう。	A	1
14	自然と触れ合いに行こう	自然に触れ合う機会を増やすこと。  実物、生き物、そのものを子どもに見てもらおうこと。	自然環境へ出かけて、自然観察や自然と触れ合える休日を通す。生きものや植物は、写真や絵だけではなく、ホンモノに触れることが大事です。バーチャルやテレビの世界だけで楽しむのではなく、本物の自然と触れ合おう。	国立公園や一級河川などで、許可が必要な区域の立ち入りを許可したり、船舶や車両などを自然触れ合いのために貸出をしましょう。	NPOやNGOが主催する自然と触れ合える行事のピーアールや広報告知に協力しましょう。	自然との触れ合いや自然観察に役立つ商品開発をしましょう。	自然と触れ合える観察会を開催しましょう。	A	1
15	生物多様性寺小屋を開こう	生物多様性について手軽に学べる寺小屋を開くこと。生物多様性と暮らしの関わりについて気軽に学べる機会を地域で開くこと。	個人の主催で大丈夫、生き物や生物多様性について語らえる場を作り。お茶を飲みながらの雑談、少人数の講演会もよし。	国が雇用する技術者・専門家を、生物多様性寺小屋に派遣しましょう。	生物多様性寺小屋の開催に対して、会場を提供したり、使用料を減免にしましょう。	専門家やNPOやNGOを招いて従業員向けに生物多様性寺小屋を開催しましょう。	生物多様性寺小屋を開催しましょう。	A	1
16	地元の自然を知ろう	地元の自然を知るイベントに参加すること（保全に参加）。子どもたちと里山体験。木を適正に使う（里山の維持のためには必要）里山を守り、水を守ること。家族連れで自然観察会に来てもらうこと。	外国の自然や遠くにある豊かな自然だけでなく、まずは、足元の身近な環境について知る事からはじめる。	地元の自然を取り上げたり、観察会の開催など、普及啓発の先進事例を各地方自治体へ伝えましょう。	特に知ってもらいたい地元の自然をホームページや市町村誌で紹介しましょう。	NPOやNGOが主催する観察会に従業員を参加させたり、慰安旅行や研修に地元の自然を知る内容を含めましょう。	地元の自然を知る観察会を開催しましょう。	A	1
17	生物多様性の日のイベントに参加しよう	アースデーや生物多様性の日のイベントに参加すること。	生物多様性の日のイベントやアースデーに参加したり、主催する。また、年1回ではなく、月に1回など定期的に生物多様性の日を作りイベントをやるのも良いでしょう。	生物多様性の日は祝日にするように提案しましょう。	生物多様性の日のイベント用の会場を提供し、使用料は減免にしましょう。	生物多様性の日はできるだけお休みにしましょう。	生物多様性の日のイベントを開催しましょう。	A	1
18	生き物を1つ選んで観察記録をつけましょう	自分の好きな生き物を1つ選んで観察、記録。	近所の桜でもよし、松でもスズメでもよし。1つ選んで毎日あるいは週一回など観察して、観察は記録をつける。	生物多様性センターや国立環境研究所などのホームページに各個人の観察結果を入力する場を作りましょう。	地域特有の生物を調べ、市民に知らせましょう。	敷地内の生物の観察記録をつけましょう。	観察記録の付け方の講習会を開催しましょう。	A	1
19	近所の公園や学校にビオトープを作ろう	公園、学校にビオトープを作ること。	近所の公園や学校に、許可を得て、ビオトープを作る。作ったからには、責任をもって管理する。	ビオトープコンテストを開催して、良いビオトープを表彰しましょう。	ビオトープを作っても良い学校や公園を市民に紹介しましょう。	敷地内で市民がビオトープを作る事を許可しましょう。	ビオトープ作りの講習会を開催しましょう。	A	1
20	生物多様性年賀状を作ろう	生物多様性年賀状を送ること。	年賀状や暑中見舞いなどに、絶滅しそうな生物の写真やイラストを使う。愛知目標などを紹介する。	生物多様性年賀状コンテストを開催して表彰しましょう。	地域固有の生物を調べ、写真撮影し、ホームページなどに掲載して、年賀状に使う人はダウンロードできるようにしましょう。	CSR(CSV)として提携しましょう。BDカレンダーをつくりましょう。	ホームページなどで、年賀状に使って良い写真提供やイラスト提供をしましょう。	A	1

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
21	我が家のあるいは我が町の生物多様性親善大使を決めよう	BD親善大使の応募。(cf.キャンギャル、イケメン)	町内会や家庭で、生物多様性親善大使を決めて、生物多様性について話したり、イベントなどを開催する。	学識者や有識者を集め、親善大使の行動マニュアルを作りましょう。	市町村の生物多様性親善大使を任命しましょう。	会社の生物多様性親善大使を決めましょう。	環境NPOやNGOはもちろん、それ以外が目的で設立された団体でも生物多様性親善大使を決めましょう。	A	1
22	企業に生物多様性教育を行うようリクエストしましょう	スーパーや百貨店が商品、品物に対し周辺住民、学校に生物多様性をとりくんで紹介や環境教育をすること。	—	国の出先機関などで働く技術者をアドバイザーとしてNPOやNGOなどに紹介しましょう。	各企業にNPOやNGOを紹介しましょう。	定期的に生物多様性講習会を開催しましょう。	企業向けの生物多様性出前講習会を開催しましょう。	A	1
23	エコツアーに行こう	エコツアーや自然観察会に参加・開催すること。自然の循環性を知ること。その土地の特徴を知ること。	エコツアーや自然観察会に参加して、自然の循環性や土地の特徴を知る。	都市部などエコツーリズムに、特に参加すべき人々が多く住む自治体や地域で重点的にピエール活動を行いましょう。	地域のエコツアー会社や団体を紹介しましょう。	エコツアー部門を設立したり、エコツアーを行う会社に出資しましょう。慰安旅行はエコツアーにしましょう。	イベントや講演会やマスコミ向け体験ツアーなど、エコツアーを広めるためのPR活動を行いましょう。	A	1・4
24	生物多様性の経済的価値の話しをしよう	TEEB(生物多様性と生態系の経済学)の普及に努めること。(学習して)	—	TEEBを各地方自治体や企業にへ紹介しましょう。	TEEBの地方自治体向け報告書を取り寄せて勉強会をしましょう。	TEEBの企業向け報告書を取り寄せて勉強会をしましょう。	TEEBの企業向け報告書を企業に紹介しましょう。	A	1・2
25	生物多様性の事も考えてエコポイントを貯めよう	エコポイントを、家電だけでなく農産物や木材加工品他サービスにも対象を広げること。(国での標準化ではなく、地域基準で地域通貨みたいになるとよいかも?)生態系サービスへの支払いの促進策+地域内循環	家電だけでなく、農産物や木材加工品他サービスにもエコポイントの対象を広げる。国での標準化ではなく地域基準で地域通貨みたいになるとよいかも?生態系サービスへの支払いの促進策+地域内循環に活用していく。	生物多様性エコポイントを作りましょう。	地域の生物保全に役立つエコポイントを作りましょう。	生物保全に役立つ商品開発をしましょう。	消費者のニーズを調べ、商品開発して欲しい製品を企業に提案しましょう。	A	1・4
26	エコツアーの話しをしよう	エコツアーの普及。	エコツアーに行った後の話(体験談)や、エコツアーという旅行がある事を多くの人に話す。	各省庁の食堂に、エコツーリズムのポスターやパンフレットや資料を置いて昼食時の話題提供にしましょう。	エコツーリズムに適した施設や自然など、情報提供しましょう。	慰安旅行をエコツーリズムにして、その体験談を語り合ひましょう。	エコツアーに参加した人の話しを聞く集いを開催しましょう。	A	1・4
27	自分だけの生物多様性保全表示やリストを作りましょう	すべての食品にBD指標を表示する(food milageのように)。	日常買物する時に迷わないように、生物多様性の保全に役立つ食品や製品のリストや悪影響を与える食品や製品をリストアップする。	学識者や有識者を集めて評価基準のモデルを作りましょう。	地域の企業に情報公開を呼びかけましょう。	情報公開に努めましょう。	生物多様性の保全に役立つ企業を調べて公表しましょう。	A	1・4
28	漁業体験をしよう	漁業って楽しい!てことを体感すること。 ・船に乗る	食品売り場で売られている魚で「天然」の表示がなされているものは、野生生物です。生物多様性の保全を心がけながら漁をする漁師を増やさないといけません。将来、生物多様性の保全を考える漁師を増やすためにも、船に乗ったりしながら、漁業って楽しい!てことを体感する。	海のない自治体へは、海のある自治体とのタイアップを促進するなど、自治体同士の橋渡し役をしましょう。	NPOやNGOに企業や漁業関係者を紹介しましょう。	漁業に関する企業はイベントを主催したり、NPOやNGOに協力しましょう。	漁業体験学習を主催しましょう。あるいは、主催する企業に協力して学習法のノウハウを伝えましょう。	A・B	1・6
29	産地訪問をしよう	生産者と知り合うこと。生産地へ行くこと。生産地の現状を知ること。林業、農業、漁業。	私たちは、食品や木製品など多くの生物を食べ、使っています。私たちが使う生物が育つ現場を見て、買物をする時に何をかうべきか、参考にします。林業、農業、漁業の生産者と知り合う、生産地へ行く、知る。	生産地の少ない自治体へ、訪問して欲しい産地を紹介するなど、都道府県を跨いだ産地紹介をしましょう。	産地見学が可能な農家や漁民や林業家を、NPOやNGOに紹介しましょう。	きめ細かな産地表示と情報公開をしましょう。	産地訪問のツアーを主催しましょう。	A・B	1・6・7
30	親子農業体験を主催しよう	親子農・自然体験。子育てグループ。	子育てグループによびかけ親子農・自然体験をする機会を増やす。農業は生き物を育てる場所です。私たちは生き物を食べていることが実感できます。	農地の少ない自治体へ、他の受け入れ自治体を紹介するなど、都道府県を跨いだ紹介をしましょう。	農業体験を受け入れてくれる農家を探して確保しましょう。	研修に農業体験を取り入れましょう。	農業体験のイベントを開催しましょう。	A・B	1・7

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
31	食品売り場に生物多 様性保全に役立つ コーナーを作ってもら うようリクエストしま しょう	食品スーパーに生物 多様性売り場を作る こと。	食べ物の殆どは生物です。 生物多様性の保全に役立つ 商品売り場を作ってもら うようリクエストする。必要 であれば、自然保護団体な どを紹介してあげて、タイ アップしてもらうように提案 する。	先進的な事例を 調べ、各地方自 治体に紹介した り、表彰したりしま しょう。	企業にNPOやNGOを 紹介し、リクエストボッ クスの設置も呼びかけ ましょう。	リクエストボックス を設置しましょう。	市民のニーズや要 望を調べ、企業に 教えてあげましょ う。	A ・ B	1・ 4・ 6・ 7
32	植物でグリーンカーテ ンを作ろう	各戸のベランダでグ リーンカーテン！！ ゴーヤ、フーセンカ ズラ、キュウリなど。	緑化をすることで、ヒートア イランド対策、CO2削減につ ながる。	国の出先機関な どを含め、国の所 有する建物で実 践しましょう。	市町村役場などの場所 を提供して、やってみ たい人に場所の提供し ましょう。	植物グリーンカーテ ンに関する商品開 発をしましょう。	講習会を開催しま しょう。市民のニ ーズを調べて、企業 へ情報提供しま しょう。	A ・ D	1・ 15
33	生物多様性の保全に 役立つ文化を再生さ せよう	魚を保全しながら漁 をする文化や取り過 ぎない掟など、地域 の持続可能な智慧を お年寄りから話しを 聞くこと。	漁村や農村の文化を再生し て、生物多様性の保全に役 立つ伝統的知識をよみがえ らせる。	途上国や海外の 伝統文化で、生 物多様性の保全 に役立ち、現代 でも取り入れら れるものを調べ て提案しましょ う。	学校教育などで体験学 習を実施しましょう。	自社に関連する生 物多様性の保全に 関わる文化や風 習や掟を調べて紹介 しましょう。	昔の文化や風習を 調べて紹介しましょ う。	A ・ E	1・ 18
34	我が家の循環システ ムを整えよう	大規模インフラに頼 らない。 身近な自然を育て恵 みをうける。	家庭菜園、コミュニティガ ーデン、ベランダガーデンなど 身近な場所で野菜をつくる。 生ゴミ堆肥化コンポストや雨 水タンクなどを組み合わせ た我が家の循環システムづ くりを進め、大規模インフラ への依存度の低い生活を送 る。	理想的な循環シ ステムについて学 識者らを集めて検 討し、有効な情報 を国民に提示しま しょう。	循環システムを調える のに役立つ商品を売っ ているお店の紹介など をしましょう。	循環システムを調 えるための製品開 発や消費者への提 案をしましょう。	国や地方自治体と 相談しながら、企 業へ提案し、また 企業や消費者の要 望を国や地方自治 体へ伝えるなど、 知的協力をしましょ う。	A	4
35	落ち葉を使おう	落ち葉、刈り草利用 堆肥化、草木灰つく りマルチ等、落葉を 地域に還元する。 身近な自然を育て恵 みをいただく。	—	国立公園や国営 公園、一級河川 の護岸・河川敷な ど、落ち葉を拾え る場所を増やしま しょう。	街路樹や公園など落ち 葉を拾える場所をつくり ましょう。	落ち葉利用グッズ や商品開発をしま しょう。	落ち葉活用の講習 会を開催しましょ う。	A	4
36	使わなくなった物の交 換会を開こう	着なくなった服や使 わなくなったモノの交 換会を。余剰物の交 換。	服や日常使う道具に、生き 物から作られた製品があり ます。着なくなった服や使わ なくなったモノの交換会を開 こう。	交換できなかった 品で、途上国や 海外で役立つ物 を回収し、途上国 へ提供しましょう。	交換会の会場を提供 し、使用料減免にしま しょう。	技術者を派遣して、 修理あるいは交換 の時のアドバイスを しましょう。	交換会を企画、主 催しましょう。	A	4
37	買物をする時に、捨て ることも考えて買おう	使い捨てをやめるこ と。ものを買う時に捨 てる時のことを考え ること。自然にかえっ たり、再生できるもの を買うこと、つくるこ と。	常識化したペットボトル飲 料、使い捨て容器をやめ る。自分自身が自然循環の 中に入る。	輸入品や輸出品 で長持ちする製 品を紹介し、その ことをピーアール をしましょう。	NPOやNGOの調べを 基に、ゴミ回収マニユ アルに添付参考資料とし て配布しましょう。	長持ちする商品の 開発、使い捨て製 品を減らすようにし ましょう。	廃棄するのに必要 なお金やエネル ギーやCO2を調べ て示しましょう。	A	4
38	買物をする時に本当 に必要な考えよう	ものを買う前に本当 に必要なかどうかをも う一度考えること。	木製品や食品を含め、生物 を使ったり関りのある製品 は数多くあります。大量消費 の習慣をなくして、本当に買 うべきか考え、本当に必要 なものだけを買うようにす る。	NPOやNGOの提 案を基に、各地方 自治体へ調査結 果を知らせましょ う。	市町村の広報誌などに 調査結果を掲載しま しょう。	NPOやNGOと協力 して、本当に必要な 商品開発をしましょ う。	買ったけど、必要 なかったと思われる 物をアンケート調 査し、定期的に周 知しましょう。	A	4
39	古い物でも自信をもっ て使おう	流行おくれただからと いって買い替えるこ とをやめること。	50年かけて育った木から作 られた木製品も50年以上大 切に使えば基がとれます。 その製品を作るのにどれだ けの生物を犠牲にしている か考え、できるだけ長く使 うようにする。モノを大切に 使う。	先進的な事例を 調べ、各地方自 治体に紹介した り、表彰したりしま しょう。	ファッションショーや古 物展示会などのイベ ントを主催するNPOや NGOに会場などの場所 を提供し、使用料減免 にしましょう。	長持ちする商品の 開発、使い捨て製 品を減らすようにし ましょう。	古い物を使う人を 称えたり、紹介す るなど、使っている 本人が自信を持 てるようなPRをしま しょう。	A	4

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
40	生物多様性ポイントを作ろう	企業(社員に)や自治会(住民に)単位で、生物多様性に関する関わりに参加させ、ポイント化(格付け)すること。	町内会や商店街あるいは、家庭内で、生物多様性ポイントを作り、生物多様性に関わるイベントや行事などに参加した時にポイントがつくようにする。ポイント交換として町内会や商店街などでは、割引券を提供したり、家庭内ではお小遣いアップなどの特典があると楽しい。	外国でも使える生物多様性ポイントを作れるよう取り組みましょう。	地域で使える生物多様性地域ポイントを作りましょう。	生物多様性の保全に役立つ商品開発をしましょう。	生物多様性ポイントを普及させるピール活動をししましょう。	A	4
41	食品売り場に有機野菜を置いてもらうようにリクエストしましょう。	スーパーに有機野菜おいてもらうようリクエスト。	無農薬や有機農業で作られた農地には、生き物も生息できます。特にコウノトリ米やトキ米などの生き物ブランド農産物や食品を買って、生物保全に役立つ農地を増やす手助けをする。	NPOやNGOが調査報告しやすくするために、データなどの情報提供をしましょう。	NPOやNGOの協力を得て生物多様性の保全に役立つ食品を置いているお店や企業を紹介しましょう。	お店や玄関にリクエスト箱を設置しましょう。	生物多様性の保全に役立つ食品や産地、悪影響を与える食品などを調べて報告しましょう。	A・B	4・7
42	食べ物が作られている場所を見に行こう	自分の食べているものがどんなものかを知ること。	食べ物の殆どは生物です。自分が食べているものが、どこでつくられ、どうやって届いているものかを知ること、生物や環境へ関心を持つ。	生産地の少ない自治体へ、訪問して欲しい産地を紹介するなど、都道府県を跨いだ産地紹介をしましょう。	産地見学に協力してくれる農家や漁民や企業をNPOやNGOに紹介しましょう。	産地表示を細かくしましょう。食品が作られる課程がわかる工場見学などが行えやすくするように工場配置や設備を整えましょう。	産地見学や工場見学のツアーを主催しましょう。	A・B	4・6・7
43	料理を作り過ぎないようにしよう	料理を作り過ぎないこと。	食べ物の殆どは生物です。食べられないほどの料理を作ることは、それだけ生物が無駄にされている事になります。	学識者や有識者を集めて理想の料理のモデルを作りましょう。	各ゴミ収集所ごとの残飯の量を計測し、少なかった地域住民にエコポイントを提供しましょう。	家庭で作られた資源(ゴミ肥料)の回収、売買をしましょう。ベンチャーに期待。	普及啓発活動をししましょう。	A・B	4・6・7
44	自分だけの生物多様性の保全に力を入れている企業リストを作ろう	環境企業のリストアップして公開。	日頃の買物やテレビやニュース、その他講演会などで知れた情報をもとに、自分だけの生物多様性の保全に役立っている企業リストを作って、知人や友人に知らせる。	学識者や有識者を集めて評価基準のモデルを作りましょう。	地域の企業に情報公開を呼びかけましょう。	情報公開に努めましょう。	生物多様性の保全に役立つ企業を調べて公表しましょう。	A・B	4・6・7
45	今生えている自然木を守ろう	自生している樹を守るためにはどうしたら良いかを考えよう。	木をあたりに植えることを考える前に、今、目の前で自生している樹を守っていこう。	「日本のクロマツ百選」や「桐百選」など、種ごとの百選選定を行いましょう。	自生木を選出し、地図化しましょう。	自生木をコマースに使用したり、トレードマークにするなど、自生木を活用しましょう。	自生木情報を国や地方自治体に提供しましょう。	B	5
46	食べ物を買う時に生物多様性を意識しよう	旬のものを食べることに。産地にこだわり味の評価をすること。食品の買い物の際に、エコラベルの商品を優先すること。自給率を上げること。	旬のものや産地・エコラベルなど気にしながら、買い物や食事する。	NPOやNGOが提案しやすいように、データの情報提供をしましょう。	NPOやNGOが提案した情報を市町村の広報誌に掲載するなど、周知に協力しましょう。	NPOやNGOが提案した商品を積極的に購入、仕入れましょう。	毎月、生物多様性の保全に役立つ食品や買物を提案しましょう。	B	6・7
47	好き嫌いせずに食べ物を食べよう	好き嫌いをなくすこと。	食べ物の殆どは生物です。好きな食べ物や美味しい食べ物を求めれば求めるほど、特定の生き物を絶滅に追い込むことにもつながります。嫌いなものは食べない、ということをするとは結局ゴミが出る。加えて、「好き嫌いをなくす」は食べ物についてだけではなく、あらゆることに言えるのではないか。ありのままを受け入れることの大切さを述べている。	NPOやNGOが調査報告しやすくするために、データなどの情報提供をしましょう。	NPOやNGOの協力を受けて、生物多様性の保全に役立つ食事の講習会を行いましょう。	美味しく食べるための提案や食品開発、商品開発をしましょう。	生物多様性の保全に役立つ食品や悪影響を与える食品を調べて報告しましょう。	B	6・7
48	生き物をむやみに動かさないようにしましょう	ホテルの里を作るのに他の所から持ってこないこと(ゲンジボタル、ヘイケボタル)。	自然環境を再現しようとするのはいいが、他地域から生物をもってくるのはよくないので、気をつける。例えば、ホテルでも地域性があり、遺伝子が違います。見た目に美しいからと言って、むやみに生き物を移動させないようにする。	地方自治体が行うためのマニュアルを作りましょう。	地域固有の生物を調べ地図化しましょう。	敷地内や仕事の上で生き物が持ち込まれないか、あるいは倫理的に問題がないか、チェックする監視担当者を決めましょう。	地域固有の生物の大切さを伝えるイベントや講習会を開催しましょう。	B	9
49	地産地消に心がけよう	産地消費(情報提供を多く)。	できるだけ国内の食品、できるだけ地域の食品を買う。	普及啓発の先進事例を各地方自治体へ伝えましょう。	地元で生産される、獲れる食品を紹介しましょう。	地元の製品を積極的に使いましょう。	地産地費野の良さをアピールするイベントを開催しましょう。	B	6・7

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
50	花壇の草花を野外へ 持ち出さないようにし よう	花壇の草花を野外 に持ち出さない(自 生させない)こと。	その地域での生態系がある ので壊さないように配慮しな いとだめです。園芸種も外 来種が多く、日本固有の生 き物を守るためにも、自然 界へ流出しないように注意 する。	地方自治体が取 り組みやすくす るためのマニュアル を作りましょう。	自然を守るために花壇 を作ってはいけない場 所を決めて地図化しま しょう。	敷地外へ草花が持 ち出されないか、あ るいは倫理的に問 題が無いか、チェッ クする監視担当者 を決めましょう。	花壇の生物と野生 生物の違いを伝え るイベントや講習 会を開催しましよ う。	B	9
51	自然循環型の農業を やろう	自然循環型の農業 を広げること。	家庭菜園で行うもよし、プロ として行うもよし、無農薬、 有機農業による自然循環型 の農業をやってみる。	土地を購入し、地 方自治体へ貸し 出しましょう。	自然循環型の農業を やりたい人の移住者を 募りましょう。	自然循環型の農業 製品を買いましょ う。	自然循環型の農業 製品を使用してい る企業のピーアールに協力しましよ う。	B	7
52	外来魚のフィッシュ バーガーを食べよう	外来種フィッシュ バーガーを流行らす こと。	ブラックバスなどの外来魚を 捕まえて、フィッシュバ ーガーにして食べる。	各省庁の食堂で フィッシュバーガ ーを食べられるよ うにしましょう。	外来魚が生息してい る場所を調べ、情報提供 しましょう。	外来種フィッシュ バーガー店を作り ましょう。	外来魚の問題につ いて説明するイベ ントや釣り大会を 開催しましょう。	B	6・ 9
53	自分だけの種子銀行 を作ろう	種子銀行をつくるこ と。	植物の種子が落ちていたら、 拾ってコレクションして、 自分だけの種子銀行を作 る。	全国の個人種子 銀行の登録リスト を作り把握しま しょう。	地域固有の植物を調 べ情報提供しましよ う。	関係ある植物の種 子を手し、ストッ クしましょう。	講習会を開催しま しょう。	C	13
54	自然保護団体に参加 しよう	行政(自治会)、企業 (社員に)、学校に自 然保護団体に参加 し、会員として寄付 やボランティアに参 加させること。	自然保護団体のイベントに 参加する。あるいは会員に なる。可能なら自然保護団 体に寄付をする。	自然保護団体を 地方自治体に紹 介しましょう。	地域の自然を調べて関 りの多そうな自然保護 団体の賛助会員や協 力会員になりましょ う。	経営上関りの多そ うな自然保護団 体の賛助会員や協 力会員になりましょ う。	NPO・NGOの会員 担当者は、定期的 に企業訪問や地方 自治体を訪問し て、会員になっ てもらうようピー アール活動をしま しょう。	C	12
55	草屋根を作ろう	身近な自然を育て恵 みをいただくことを実 感するために、草屋 根を作る。	住宅や施設に「草屋根」を設 けて身近な生態系を育て、 身近な場所に『自然の恵み を頂く場所』を増やすこと で、自然を意識する機会を 増やす。	国内外の先進事 例などの情報を 収集し、国民に ケーススタディを 紹介しましょう。	地域戦略や都市計画、 その他まちづくりの計 画の上で、草屋根を 作って欲しい重点地 域を選出して地図化しま しょう。	草屋根作りに役立 つ新商品の開発や 提案をしましょう。 草屋根作りグッズ の販売店を増やし ましょう。	草屋根作りの講習 会や消費者のニー ズを調べて、企業 や国や地方自治体 へ提案しましょう。	D	15
56	生物湿地を作ろう	バイオスウェル(生 物湿地)を作る。 雨水流出抑制や、雨 水の汚染抑制をす る。 都市洪水、地下水浸 透、浄化、道路や駐 車場で自然の力を都 市で活かす。	都市洪水を防ぎ、雨水の流 出抑制や汚染抑制、浄化や 地下水浸透を図るために、 道路や駐車場で、バイオス ウェル(生物湿地)を設置す る。 身近な自然を育て恵みをい いただくことを考える。	NPOやNGOの生 物湿地づくりの広 報宣伝に協力し たり、テレビコ マーシャルなどで 生物湿地づくりを 行う企業やNPO などを紹介しま しょう。	古い地図などを調べ て、昔湿地であつた場 所を示しましょう。湿地 が増えるとより効果的 な地域の選出や、ビオ トープネットワーク計画 の提案などを行いま しょう。	工場や敷地内に湿 地を設置したり、 NPOらと協力しま しょう。	市民に呼びかけて 生物湿地作りを主 催しましょう。	D	15
57	地域に街路樹を増や そう	街路樹として、その 地域に生息していた (いる)植物を植える こと	街中に街路樹を増やし、そ の地域に生息している植物 (在来品種)を植えることで、 本来の植生を復元する。	街路樹コンテスト を行い、理想的な 事例や先進的な 自治体を称えま しょう。	ビオトープネットワ ークを計画しましよ う。緑地 帯を増やすべき重点地 域を選出しましょう。	生物多様性保全に 役立つ街路樹管理 の技術開発や街路 樹用具の開発を行 いましょう。	街路樹の管理方法 や街路樹を増やす べき地域の提言を 行いましょう。	D	15
58	近くの海辺の植物を 復活させよう	公害被害地に植生 の再生(もともと生え ていた木を植える) 海辺の植生をつく る。外来植物の駆除 もあわせて行う。	海辺にもともと生えていた木 を植える。特に、都市沿岸 部の公害被害地で行う。	各地の再生事例 を集め、そのノウ ハウを外国へも 伝えましょう。	古い地図や植生図を 調べ、かつての海辺の 様子を地図化しまし ょう。	作業に社員を派遣 するなど、人的手 助けをしましょう。	地方自治体や国に理 想的な海辺植生を 提案しましょう。	D	15
59	放棄地に里山を作ろう	例えば三田処分場 に「〇〇緑地」をつ くる。新里山を参考 にする。	放棄地などを活用して新里 山をつくる。(例:尼崎100年 の森)	学識者を集めて、 放棄地活用の理 想的な方法の提 言活動・ガイドラ イン作成を支援 しましょう。	放棄地を調べて選出 しましょう。	トラック(車両)や道 具の貸出し、消耗 品の提供を行いま しょう。	協力してくれた企 業を称え、社会貢 献した企業を各方 面に周知しましよ う。	D	15
60	虫や鳥やその他の動 物によるこぶ木を植 えよう	庭に生き物がやっ てくる環境をつくる こと。生き物の餌に なるような木を植 えること。	積水ハウスの5本の木運動 などを参考に、庭にその地 域に生えていた在来の木を 植える事を一般化する。	国の出先機関な どで働く技術者 をアドバイザー としてNPOやNGO などに紹介しま しょう。	各地域の在来植物 を調べ、市民に情 報を提供しまし ょう。	会社の敷地内に木 (在来種)を植え ましょう。	植物に詳しい人の 紹介など、人材の 情報提供をしま しょう。	D	15

	私たちができる ことの提案	こんなことをしてみよ う考えてみよう	補足	提案を実現するために				愛知目標	
				国が行うとよいこ と	地方自治体が行うとよ いこと	企業が行うとよいこ と	NPO・NGOが行うと よいこと	戦略 目標	個別 目標
61	川掃除や森林整備に行こう	あいてる時間は川掃除。奥山森林整備、都市、まちなか緑化。余剰物の交換。	ビニールゴミをクラゲと間違えてウミガメや魚が死んでしまう。釣り糸が絡まって渡り鳥が死ぬなど、人間の出すゴミで多くの生物が死んでいます。あいてる時間は川掃除、奥山森林整備、まちなか緑化にかかわる。	会場や国の設備や備品などを貸出しましょう。	国の出先機関とタイアップして参加者を集めましょう。	清掃作業や整備に役立つ消耗品などを提供しましょう。	清掃作業や整備作業を企画し、主催しましょう。	D	15
62	フェアトレード製品を買おう	フェアトレード製品などを買うこと。フェアトレード商品のことを知らせること。	フェアトレード製品はその多くが、自然豊かな途上国で作られています。途上国の人々の暮らしが成り立つように、フェアトレード製品を買う。	フェアトレード製品にもエコポイントをつけましょう。	環境測定データをオープンにしましょう。交流のホームページを作成しましょう。PRに努めましょう。	マスコミを動かしましょう。CMスポンサーを見つけましょう。店の紹介をしましょう。	フェアトレード製品についての紹介やイベントを開催しましょう。	D	14
63	ベランダ園芸をしよう	ベランダ園芸を進めること。	ベランダで、食べ物を作ったり、虫が好む在来の花を育てる。	地方自治体取り組みやすくするためのマニュアルを作りましょう。	市町村の建物のベランダを開放し、ベランダ園芸希望者に作ってもらいましょう。	ベランダ園芸グッズを開発しましょう。	ベランダ園芸の講習会を開催しましょう。	D	15
64	ビルや宅地を緑化しよう	ビル、宅地の緑化義務化。	ビルや宅地を緑化して、虫やその他生き物の生息場所を作る。	国の出先機関などを含め、国の所有する建物で実践しましょう。	市町村役場などの場所を提供して、やってみたい人に場所の提供をしましょう。	ビル緑化に関する商品開発や販売店を増やしましょう。	講習会を開催しよう。市民のニーズを調べて、企業へ情報提供しましょう。	D	15
65	バタフライガーデンを作ろう	バタフライガーデンをつくる。	虫や蝶が好きな植物を植えて、バタフライガーデンを作る。	国の出先機関などを含め、国の所有する建物で実践しましょう。	市町村役場などの場所を提供して、やってみたい人に場所の提供をしましょう。	商品開発や販売店を増やしましょう。	講習会を開催しよう。市民のニーズを調べて、企業へ情報提供しましょう。	D	15
66	地域の環境計画書を読んでみよう	自治体の計画を知ること。  自分の地域の政策を知ること。	環境問題に関心があっても、意外と自分が住んでいる自治体の環境計画や政策は知らない場合が多い。自治体が何を計画しているのか知ることからはじめる。	環境計画を作っている地方自治体の情報提供をしたり、ホームページにリンク集を作るなど、全国の計画を読んで比べやすいように、整理して情報提供しましょう。	環境計画などをホームページに掲載したり、図書館で読めるなど、市民が気軽に読めるように調べましょう。	企業の環境計画を作りましょう。	環境計画の朗読会や勉強会を開催しましょう。	E	17 ・ 19
67	生物多様性地域戦略を読もう	「生物多様性地域戦略」を作っていない自治体に、いつ頃できあがるのかたずねて、完成時期を把握しておくこと。	住んでいる地域や自治体の生物多様性地域戦略を読もう。まだできていない地域はいつ頃完成するか質問して楽しみに待ちましょう。	生物多様性地域戦略を作っている地方自治体の情報提供をしたり、ホームページにリンク集を作るなど、全国の地域戦略を読んで比べやすいように、整理して情報提供しましょう。	生物多様性地域戦略などをホームページに掲載したり、図書館で読めるなど、市民が気軽に読めるように調べましょう。	生物多様性地域戦略や国家戦略を参考に、生物多様性企業戦略を作りましょう。	生物多様性地域戦略の朗読会や勉強会を開催しましょう。	E	17